

2023年度 女性産業人懇話会 VAL21 事業計画

<基本的な考え方>

グローバルな社会情勢の動きやライフスタイル・価値観の多様化等、企業を取り巻く環境が急速に変化を続けるなか、顧客ニーズへの対応や企業価値の向上のための重要な経営戦略として「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)」の推進を掲げ、多様な人材が最大限に能力を発揮できる環境整備に取り組む企業が増えています。

当会では、その実現の第一歩に「女性活躍」を位置付け、組織の意思決定に参画する女性リーダーや中核人材を増やすための活動(研究、相互啓発、スキルアップ)を行うとともに、女性をはじめとする多様な人材が活躍できる環境整備に向けて、企業や行政等へのメッセージを発信します。

<具体的内容>

■中期活動テーマ

(1)兵庫県内企業における「女性活躍」と「女性登用率上昇」の推進

都道府県別の傾向を読み取れる 2015 年度発表の総務省「国勢調査」によると、女性就業率の全国平均が 48.3%であるのに対し、兵庫県は 45.2%であり、全国ワースト 3 位の結果となりました。県内企業の活性化や更なる発展のためには、女性をはじめとする多様な人材が活躍し、組織の意思決定に参画することで、従来の常識や枠組みにとらわれないイノベーションを生み出すことが重要と考えます。

(2)兵庫県内企業における「女性が働き続けやすい職場」づくりの推進

日本は性別役割分担の意識やアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み、偏見)が根強く、世界経済フォーラムによる「ジェンダー・ギャップ指数 2022」においても、日本の順位は 146 か国中 116 位と、G7 や先進国の中でも特に遅れが目立つ結果となりました。

また、近年、兵庫県では転出超過が加速しており、特に大学等を卒業後、就職を機に県外へ転出する若年層や女性のつなぎ留めが喫緊の課題となっています。この背景には、若年層や女性が働きにくさを感じていることや、就職・転職時の選択肢の少なさが指摘されます。

このような状況においては、ハード面(法整備、制度作り)とソフト面(意識啓蒙)の両面から「女性が働き続けやすい職場」づくりを推進し、女性の「働きがい」や「働きやすさ」を向上させることが重要であり、そうした女性へのエンパワーメントは、SDGs に掲げられる「ジェンダー平等」の実現、そして県内産業の活性化にもつながるものと考えます。

■活動チーム

各月の担当チームの企画・運営により月 1 回例会を開催します。

①スキルアップ懇親チーム

会員のスキルアップ、能力開発を目的とした活動

②外部への働きかけチーム

企業・行政等への提言や、幅広い階層に向けての発信を目的とした活動

③学生への働きかけチーム

大学等との連携による学生のキャリア支援を目的とした活動

④広報PRチーム

VAL21 の活動周知や会員増強、会員間の親睦交流を目的とした活動